

取組概要

直川小学校では、佐伯市学校教育活動チャレンジ支援事業「ICT活用」の研究指定校として、課題解決のために単元構想の中でICT活用により指導の効果が高まる場面を見極めたり、意図的・計画的にICT活用場面を位置付けたりして、児童の課題解決能力・情報活用能力・表現力、主体的な学習者の育成を目指している。

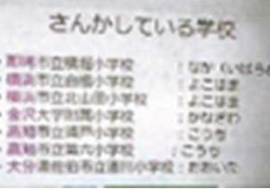
工夫・ポイント

- ◆各教科等の目標や特質に応じた1人1台端末の活用
- ◆小中合同研修の実施
→小中合同研究主題「情報から課題を読み取り、自分の考えを表現し、発信することのできる指導のあり方」に基づいて協議
- ◆おとなのiPadを学ぶ会、学校と家庭をつないだ遠隔授業の実施 など

特徴的な活動

- ◆県内外の学校・企業・施設等との遠隔交流学习の実施による表現力の育成
 - ・大分県立芸術緑丘高等学校、佐伯市立明治小学校、佐伯市立本匠小学校
 - ・長崎市立銭座小学校、熊本県山都町立矢部小学校、沖縄県宮古島市立西辺小学校、北海道小樽市立塩谷小学校など
 - ・ココラボトラーズ、NISSIN など

・全国版STEAMキッズプロジェクト



・大分県立芸術緑丘高等学校の生徒と交流



事例：5年生算数「三角形と四角形の面積」
ひし形の面積を、端末上で求積可能な図形に変形している。
自分の考えをノートに書く。（順序が分かる言葉や算数用語を使用）



小中合同授業研究会において、参考になったところ・改善策等を話し合い共有。自身の授業づくりに活かすようにする。



自分の考えを表現したり、公式を導いたりするための、必然性のあるグループ学習を展開している。